

聖書箇所:ローマ人への手紙8章31~39節  
『復活の希望に生きる』

【1】 私たちの人生に欠かせないもの

「誰であっても\_\_\_\_\_生きることにはできない。」(『夜と霧』 V.E フランクル)

【2】 何によって未来への希望を見出すのか

・ 私たちはどのようなときに希望を感じるか？

・ 聖書は希望について何と語っているだろうか？：「死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与える。」(黙示録 2:10)

▷ キリストの弟子の一人であったヨハネがこの黙示録を記した時代、キリストを信じる者たちは文字通り迫害を受け、いのちの危険にさらされていました。しかしヨハネは将来の希望を語りました。イエスが信仰に生きた者たちに「いのちの冠」を与えると。暗い時代にあっても、神が約束する未来への希望にしっかりと目を向けていたのです。

【3】 復活の希望に生きる

・ 私たちの存在理由と向かう先

・ 聖書が語る人の存在理由：

「すべてのものは、この方によって造られた」(ヨハネ 1:3)

・ 自分が神によって造られたことを知る＝生きる目的を知る

・ パウロの告白：神の栄冠を得るために、一心に走っている(ピロ 3:13~14)

・ 予期しない病、失業、挫折、別れを経験

▷ 今日生かされている恵みを感謝し、未来への希望を見つめ、いのちの冠を目指して、地上の生涯のレースを走り切ることができますように。

